

# 生活保護引き下げやめて

昨年8月に続き、4月からの生活保護費引き下げの撤回を求め、各地で不服審査請求が行われています。

## 各地で不服審査請求

### 京都

全京都生活と健康を守る会連合会（京生連）と京都社保協は21日、生活保護費削減の取り消しを求めて、2度目となるいっせい不服審査請求を行いました。354人分を山田啓二府知事あてに提出

しました。

70人が参加した事前集会では、京生連の中村東輝子会長が「生活で苦しむ人をつくらな

山科区の男性（70）

は「安倍さんは国民の生活を分かっている。自衛権の問題には積極的なのに、生活保護は何も言わずに切る。もっと真剣に考えてほしい」と憤りま

した。清掃業で働く野洲健三さん（63）は「憲法25条で健康で文化的な生活を保障されるはずなのに、この削減は弱い者いじめの暴力です。許せない」と声を張り上げました。

### 岡山

日本共産党の光永敦彦府議、京都府職労連の森吉治委員長、吉田雄大弁護士が連帯のあいさつをしました。

岡山県では253人が21日、伊原木隆太知事に不服審査請求をしました。岡山県生活と健康を守る会連合会（大西幸一会長）が呼びかけたものです。大西会長は「4月1日

がっている。生活保護世帯は切り詰めて生活しており、さらなる引き下げは人権問題。元に戻してほしい」と訴えました。

安党内閣は生活保護費を3年間で平均6・5%、最大10%引き下げようとしていて、今回の引き下げは昨年8月に続き2回目です。

同県ではこれまで、昨年8月の引き下げを不服として291人が審査請求しましたが、知事はこれを棄却。請求人のうち268人が裁決を不服として厚生労働大臣に再審査請求をしています。また昨年末には生活

### 鹿児島

保護費の冬季加算と期末一時扶助費の減額に「異議あり」と344人が知事に審査請求しています。

鹿児島県では生活保護を利用する218世帯が20日、伊藤祐一郎知事あてに審査請求しました。

食費や日常生活に充てる「生活扶助費」が昨年8月から3年間で段階的に平均6・5%引き下げられたことを不服としたもので、昨年9月から3回目の審査請求になります。支援する「県生活と健康を守る会」の祝迫

加津子会長は審査請求の理由について「4月からの消費税増税分の2・9%が上乗せされたとはいえ、ほとんどの世帯で保護費が下がった。物価は上がり生活不安はますます大きくなる」と話しました。

審査請求した鹿児島市の女性（84）は「夕方5時過ぎにスーパーで値引き品を買う生活。これ以上ひねり出せない」と生活困窮を訴えました。対応した担当者は「適正に審査する」と話しました。日本共産党の中嶋敏子出水市議が同席しました。